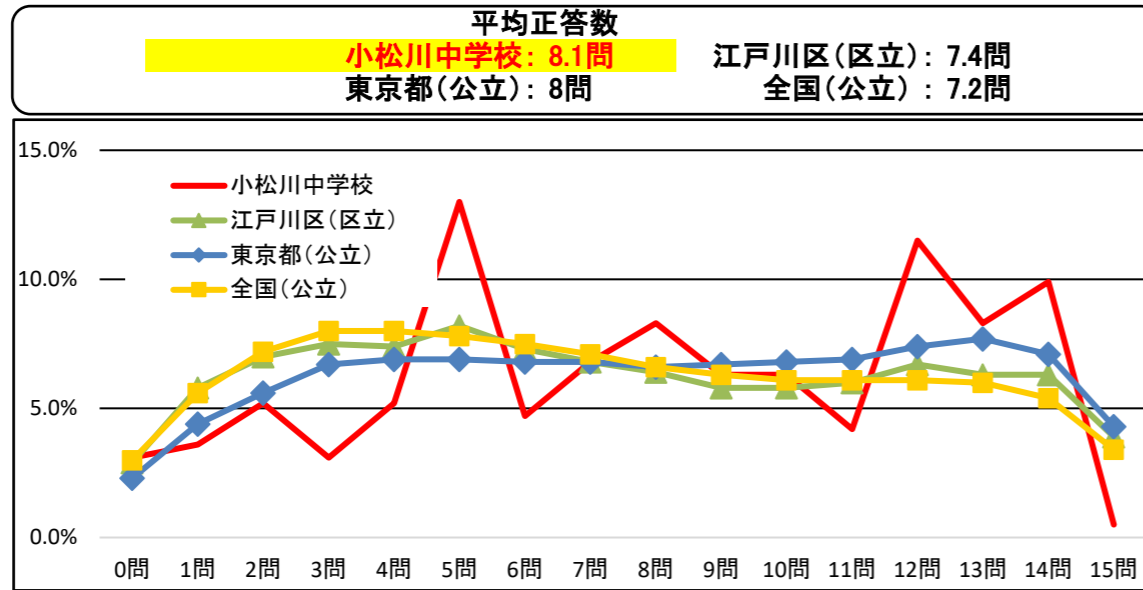


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【数学】江戸川区立小松川中学校

正答数分布



【平均正答率の差】

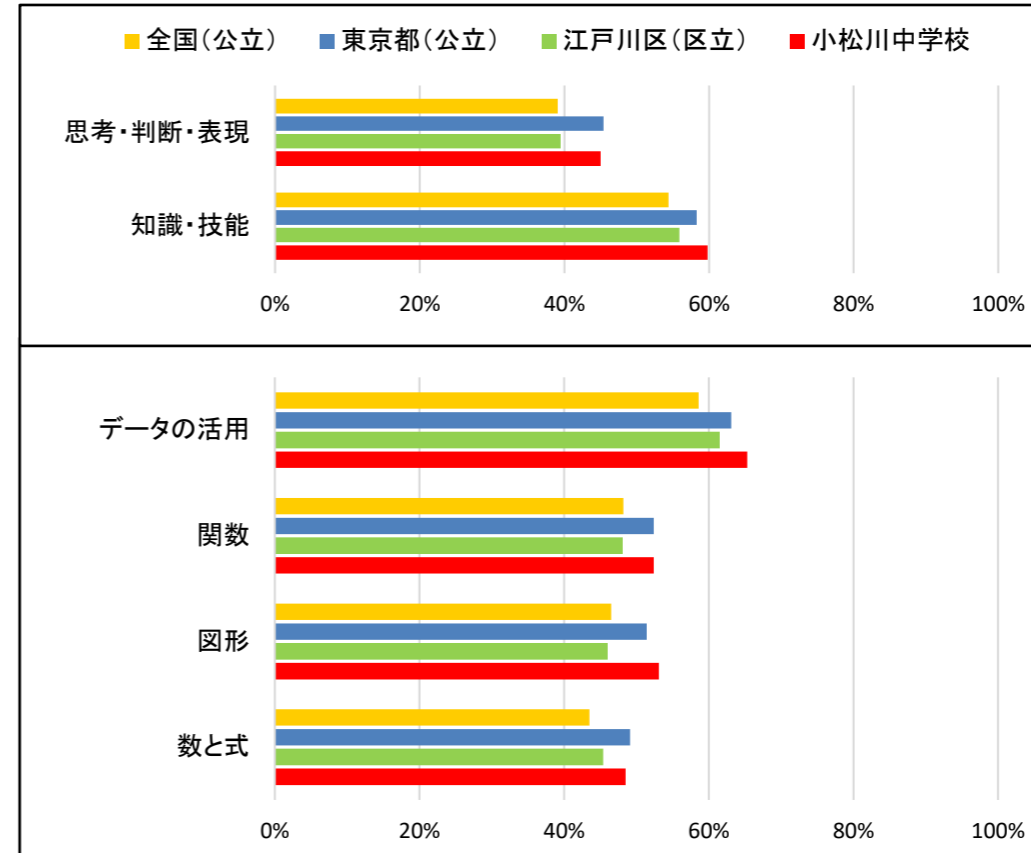
小松川中学校	54%
江戸川区(区立)	49%
東京都(公立)	53%
全国(公立)	48.3%
都との差(ポイント)	1.0

四分位における割合 (都全体の四分位による)

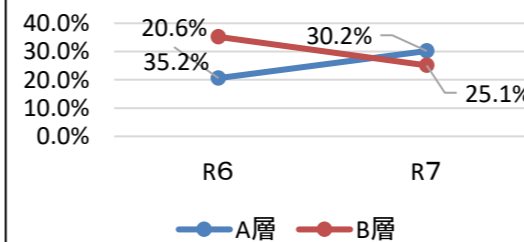
数 学	上位 ← → 下位			
	A層 12~15問	B層 8~11問	C層 4~7問	D層 0~3問
小松川中学校	30.2%	25.1%	29.7%	15.0%
江戸川区(区立)	23.2%	24.0%	29.6%	23.2%
東京都(公立)	26.5%	27.0%	27.5%	19.0%
全国(公立)	20.9%	25.1%	30.2%	23.8%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

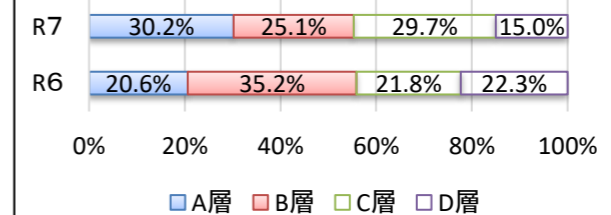
「領域別」の結果



AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



四分位における割合を前年度と比較すると、A層の割合が増加し、D層の割合が減少した。一方で、AB層とCD層の割合は変化しておらず、C層の生徒をB層にあげることが今後の課題である。知識・技能に関する問題への定着を図るために日々の小テストに対する意識を高めていく